

2008 年 10 月 27 日（月）14:30 解禁
於：東商記者クラブ

2008 年 10 月 27 日
日本百貨店協会

全国約160の百貨店で利用できる「百貨店ギフトカード」の提供開始

～ 新しいショッピングスタイルをつくる「カードタイプの商品券」～

日本百貨店協会（東京都中央区、会長：鈴木弘治）に加盟する百貨店は、新しいカードタイプの商品券「百貨店ギフトカード」の提供を11月1日（土）より開始します。

「百貨店ギフトカード」はプラスチックカード型の商品券で、協会加盟百貨店 267 店舗のうち、約 160 店舗（別添参照）での利用が可能です。

一般的なギフトカードの特長は、

- 紙の商品券のように嵩張らず、財布に入れて携帯できる
- ギフトシーンに合わせて券面のデザインが自由に展開できる
- 個人・法人等によるオリジナルデザイン（オンデマンド）ができる
- 釣銭の受け渡しやサインなどの煩わしさが少ない
- アメリカではすでに 10 兆円の市場規模になっている

など、カジュアルな贈答を中心に、さまざまなギフトシーンでスマートにご利用いただけるこれからの「ギフト商品」として大きな成長が見込まれております。

<「百貨店ギフトカード」の概要>

今回の「百貨店ギフトカード」スタート時の券面デザインとしては、白・赤・黒の3色をご用意しました。デザインとしては、百貨店の「百」の文字を細いワイヤーのようなラインで円と一体化させたデザインマークを入れ、シャープで現代的な印象と、円の持つ包み込むような安心感を表現しました。このデザインマークが全国約 160 店舗の百貨店でお使い頂ける「百貨店ギフトカード」の目印となります。



- | | |
|---------------|--|
| 1. カードの名称 | ： 「百貨店ギフトカード」 |
| 2. 発行日及び利用開始日 | ： 2008 年 11 月 1 日 |
| 3. カードデザイン | ： 3 色（白・赤・黒） |
| 4. 金額 | ： 5,000 円、10,000 円、20,000 円、30,000 円、50,000 円の 5 種類
（固定金額性による使い切りタイプ／リ・チャージはできません。） |
| 5. 利用可能店舗 | ： 全国約 160 店舗（2008 年 11 月 1 日現在） |
| 6. 有効期限 | ： なし |

＜百貨店ギフトカードシステム＞

「百貨店ギフトカード」は凸版印刷株式会社と富士通エフ・アイ・ピー株式会社のシステムを採用しました。お客様の残高は高水準の安全対策・セキュリティ対策を施した残高管理センターでお預かりいたします。また、カード残高を携帯電話やパソコンなどからインターネット上で確認いただけるなど、利便性の高いシステムとなっております。

＜百貨店ギフトカード紹介サイトURL（10/28 より）＞ <http://www.depart.or.jp/gift/>

＜背景と経緯＞

1. プラスチック製「ギフトカード」は、米国において 90 年代後半に登場してから、爆発的な普及を続け、現在では 10 兆円に近い市場規模にまで拡大したと言われています。最も代表的なギフトアイテムとして米國小売業の 8 割以上が導入していることから、我が国においても非常に注目を集めています。
2. 百貨店にとって、ギフトマーケットは、業態特性を特長付ける最も重要な分野であります。最近では、ギフトに関する消費者のニーズ、スタイルや価値観が変化してきており、百貨店のギフト戦略も再構築が求められていることから、日本百貨店協会では、この「ギフトカード」が「パーソナルギフトへの対応」と「新しいギフト商品の開発」の実現に繋がるのではないかと考え、会員百貨店での事業化に向け、平成 18 年から約二年半にわたり検討を続けてきました。
3. この間、各百貨店においては、自社の店舗でのみ利用可能なハウス型ギフトカードとして、2007 年 4 月に株式会社高島屋が「TAKASHIMAYA GIFTCARD」を、同年 8 月には株式会社大丸が「DAIMARU GIFTCARD」を、また同年 10 月には株式会社阪急阪神百貨店が「HANKYU GIFTCARD」と「HANSHIN GIFTCARD」の発行を開始しています。
4. 先行的にハウス型ギフトカードが展開される一方で、当協会では、会員百貨店間で相互に利用可能なギフトカードの開発に向けて協議を行った結果、相互利用型のギフトカードについては、会員百貨店各社の判断による任意参加の形式を取り、この事業に賛同し準備の整った百貨店から展開を始めることを確認しました。
5. このような経緯を経て、今回の「百貨店ギフトカード」がスタートし、11 月 1 日現在、日本百貨店協会に加盟する百貨店 267 店舗のうち、約 160 店舗（別添参照）において利用可能となりました。

＜今後の予定＞

今後、日本百貨店協会では、「百貨店ギフトカード」の取り扱い店舗数の拡大を目指します。また、魅力ある「百貨店ギフトカード」の提供に向けて、ギフトシーンにあわせたカードデザインの追加などを検討していきます。

伝統と格式を持つ「全国百貨店共通商品券」とこの「百貨店ギフトカード」の二つを百貨店のギフト市場を牽引する両輪として捉え、お客様の要望に応えつつ市場拡大を図っていくこととしています。

◇ お問い合わせ先 日本百貨店協会 企画開発部（西田・高橋）TEL:03-3272-1666